



令和7年度 羽生田小 学校経営全体構想図

【学校教育目標】

豊かに学び、共に未来のふるさとを拓く「はにしの子」の育成

- <徳> みんなと仲よくできる子ども
- <知> よく考えて勉強する子ども
- <体> 心も体も強い子ども

【学校経営のスローガン】

- 1 「はじめに子どもありき」
- 2 「みんなが一つに」
- 3 「小規模校だからこそできる教育を」

＜めざす学校像＞	＜めざす子ども像＞	＜めざす教職員像＞
夢をもち社会に貢献する意欲を育てる学校 1 子どもも職員もしっかりと「聴く話す」姿勢を身につけた学校 2 豊かな表現力を育成し、伝え合う力を伸ばす学校 3 気持ちの伝わる「あいさつ・返事」「ありがとう」が言える学校 4 一人ひとりに「確かな学力」を身につけられる学校 5 今日楽しかった、明日も楽しみになる学校	自分や友達を大切にできる子ども 1 思いやりがあり、人の気持ちを想像できる子ども 2 感謝の心を持ち、明るく礼儀正しい子ども 3 お互いを認め合い、協力する子ども 4 各学年に応じた基礎基本を身につけ、自分らしく表現する子ども 5 意欲をもって学習に取り組む子ども 6 目標をもち、最後まで頑張る子ども 7 健康で安全に生活できる子ども	子供の未来を考えて指導する教職員 1 子どもの思いを理解し、一人ひとりのよさや意欲を引き出す職員 2 笑顔と活力にあふれ、温かさで厳しさをもち職員 3 家庭・地域から信頼される職員 4 助け合い、協働し、前向きに行動する職員 5 授業力の向上を目指す職員 6 効率的に校務を進めるために、「5S」（特に整理）に積極的に取り組む職員

【学校経営基本方針】

- 1 子ども一人ひとりの特長を伸ばす教育を進める。
- 2 豊かな感受性と主体性を育む活動を推進する。
- 3 子どもがよくわかり、主体的・対話的で深い学びを実践する。
- 4 地域・保護者との連携協力を深め、信頼される学校づくりを推進する。

学校経営方針1「子ども一人ひとりの特長を伸ばす教育を進める」

- (1) 子どもの気持ちを理解し、個性を尊重し一人ひとりに応じた適切な指導を行う。
- (2) 十分な体験活動と活躍の場を設定し、子どもに達成感や自己有用感を持たせる教育を推進する。
- (3) 自分と相手を大切にする心を育てる人権教育を推進する。
- (4) スクリーニングテストを活用し、個に応じた支援を行う。

学校経営方針3「子どもがよく分かり、主体的・対話的で深い学びを実践する」

- (1) 少人数学習指導の利点を生かし、基礎・基本の徹底を図るとともに、個に応じた発展課題に取り組ませる。
- (2) ICTを効果的・効率的に活用し、主体的・対話的で深い学びのある楽しくわかりやすい授業を展開する。
- (3) OJLを充実させ、若手教員の育成を図る。
- (4) 基本的な学習習慣の定着を図る。
(学習規律、聴き方・話し方)
- (5) 家庭と連携し、家庭学習・読書習慣の確立を図る。

学校経営方針の具体策

学校経営方針2「豊かな感受性と主体性を育む活動を推進する」

- (1) 一人一人が自分に応じた役割を自覚することで、達成感を味わえる全校合奏を充実させる。
- (2) 論語から学ぶ「心の教育」を実践する。
- (3) いじめ・不登校等を未然防止し、早期発見・早期対応に努める。
- (4) 子供が中心となって計画し、実行できる異年齢集団活動を充実させる。(わんぱく班活動・共遊・体験活動)
- (5) 道徳の授業を充実させ、道徳的実践力の育成を図る。
- (6) 気持ちをこめて「あいさつ・返事」「ありがとう」が言えるように日常的に働きかける。
- (7) 基本的な生活習慣の定着を図る。
(早寝、早起き、しっかり朝ご飯)
- (8) 目標を明確化して、体力づくりの実施に取り組む。
(鉄棒・水泳・持久走・縄跳び)
- (9) 食事の楽しさや喜びを感じることができ食育を充実させる。

学校経営方針4「地域・保護者との連携協力を深め、信頼される学校づくりを推進する」

- (1) 地域・保護者・学校の連携を密にし、三者で協働して児童の育成を推進する。
- (2) 家庭との連携を図り、子どもたちの自己肯定感や有用感を高め、自信をもたせる教育を推進する。
- (3) 各種ボランティアによる諸教育活動を推進する。
- (4) 学校運営協議会を充実させ、意見を学校運営に積極的に反映させていく。